

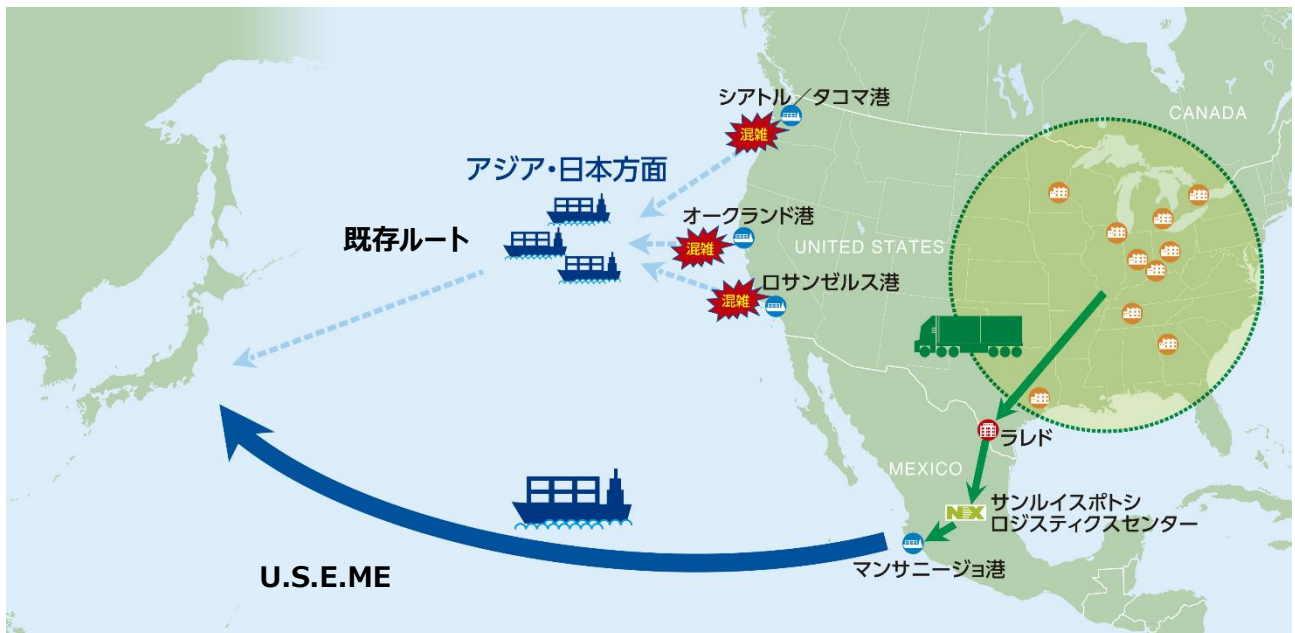
報道関係各位

2022年6月30日

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

**N Xアメリカ、北米発アジア向け、メキシコを経由した新たな複合輸送サービスを開始**  
 ～北米西岸の港湾混雑を回避する、BCP 対応サービス～

NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社（社長：齋藤充）のグループ会社、N Xアメリカ株式会社（社長：阿部俊哉 以下、N Xアメリカ）は、米国・カナダからアジア向けに、メキシコを経由する新たなBCP 対応複合輸送サービス「**US EXPORT SERVICE Via MEXICO**」（略称：**U.S.E.ME**）を開始しました。



(U.S.E.ME サービスルート図)

【サービス概要】

A. サービス名 「**US EXPORT SERVICE Via MEXICO**」（略称：**U.S.E.ME**）

北米（米国・カナダ）の各地から陸路でメキシコのサンルイスポトシの自社倉庫までトレーラーで輸送し、コンテナ積み替え、メキシコのマンサニージョ港から日本含む、アジア各国の港まで海上輸送するBCP 対応、複合一貫輸送サービスです。

B. 特徴

- ① 安定したリードタイム：米国西海岸の港湾混雑を回避し、安定したリードタイムによる輸送サービスの提供が可能です。リードタイム（例）：シカゴから横浜港まで37日程度  
 →現状同ルートを西海岸経由（鉄道&陸送）で輸送した場合、40日～60日程度のリードタイム※となります。※2022年6月現在、当社輸送実績に基づく

②NXグループによる高品質な一貫輸送：NX メキシコが House Waybill を発行し、発地から着地まで一貫して輸送責任を明確化することでお客様に安心のサービスを提供します。

③柔軟な集荷対応：米国・カナダの主要各都市から、お客様のご指定日に応じた集荷対応が可能です。

※主な集荷対象エリア：トロント、ミネアポリス、シカゴ、インディアナポリス、デトロイト、コロンバス、シンシナティ、ナッシュビル、アトランタ、ヒューストンなど

#### 【サービス開発の背景】

北米西岸の港湾混雑に起因して、本船スケジュールの変更や遅延が発生し、新たなスペース確保が難しいことに加え、積み替える鉄道ターミナルの混雑や、トレーラーのドライバーが不足するなど、物流に大きな影響が出ています。また、北米西岸労使交渉による港湾ストライキ発生リスクも懸念され、先行き不透明な状態が続いています。

NX アメリカは、お客様のサプライチェーンを維持するための BCP 対応サービスとして、米国西海岸の港湾混雑を回避し、スペースを確保しやすいメキシコを経由した新たな複合輸送サービス「**U.S.E.ME**」を開発しました。安定したリードタイムで確実な輸送を提供するとともに、メキシコで唯一自社運営倉庫を有する日系企業の強みを生かし、NXグループによる高品質な一貫輸送サービスを提供します。

また、日本通運は、北米西岸の港湾混雑を回避するため、日本発、メキシコを経由する北米向けのサービスを 2021 年 8 月に開始していましたが、今回のサービス「**U.S.E.ME**」により、日本ー北米の双方向で、メキシコ経由のサービスがご利用いただけることになりました。

NX グループは、お客様からのご要望にあわせ、代替となるルートの開拓や輸送モードの活用と組み合わせによる BCP 対応ソリューションを提供し、お客様の事業継続を支えてまいります。

本リリースに関する問い合わせ先

NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5801-1212 Email : nxhd-pr@nipponexpress.com

担当：加藤・関谷・元木